

表現力

担当教員 片山なのあ

受講アトリエ【602】

2024/04/15(月)-2024/7/8(月)

13:30-16:30

授業内容

表現力は自由な発想のもと、物や事、ストーリーを色と形で表現する授業です。基本を大事にしながらも、固定概念に囚われず、自分だけの表現を見つける授業でもあります。主観と客観の両面から自分の個性を見つめながら、自分の感情や思考を視覚的に表現できる力を養います。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月15日	月		MAC講座	○	オリエンテーション	
2	4月22日	月		MAC講座	○	制作1(色彩)	絵の具
3	5月20日	月		MAC講座	○	制作2(形・ディフォルメ)	
4	5月27日	月		MAC講座	○	制作3(大きな絵)	絵の具・B3画用紙
5	6月3日	月		MAC講座	○	制作3(大きな絵)	
6	6月10日	月		MAC講座	○	制作3(大きな絵)・講評	
7	6月17日	月		MAC講座	○	制作4	
8	6月24日	月		MAC講座	○	制作4	
9	7月1日	月		MAC講座	○	制作4	
10	7月8日	月		MAC講座	○	制作4・講評	

学習目標

基礎課程として1年次に、表現の根本になる5つのエレメントに分けて指導を行う。5つのエレメントとは「技法力」「観察力」「構成力」「企画力」を指す。将来どんな活動をする上でも基本的な「体」ができていないと多様なものは生まれてこない。1年次前期で基礎力をしっかり身に付けることで、クリエイティブの入り口に立つことができ、2年、3年の授業も「なぜこれをやるのか」を理解できるようになる。その一番大事な部分を取り組む授業が「5つの力」であるそういった人がこの5つの力を通過する事によって苦手意識を克服し、次世代のプロを育成する足がかりとする。もの作りの構造を理解し、時代に対応できる力をつけることを目標とする。

予習・準備物

課題ごとに指示する。

注意事項

出来る限り授業時間内に制作完成させること。

評価方法

課題提出と授業態度で評価する。

1年ファインアート科

観察力

担当 工藤礼二郎 安藤孝浩／美術解剖学 佐藤良孝

受講アトリエ [601] ※501と2アトリエを使用する場合があります 2024/04/16(火)-2024/7/9(火)

9:20-12:30/13:30-16:30

授業内容

鉛筆、木炭デッサンから始まり、人体デッサン、水彩、油画など絵画表現の基礎を身につける。
課題毎に講評会を行う。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月16日	火	工藤	オリエンテーション/鉛筆デッサン	工藤	鉛筆デッサン	B3画用紙・鉛筆
2	4月23日	火	工藤	講師作品解説/鉛筆デッサン	工藤	鉛筆デッサン基礎	B3画用紙・鉛筆
3	5月7日	火	工藤	デッサン実演/木炭デッサン	工藤	木炭デッサン基礎	木炭紙・木炭
4	5月14日	火	安藤	木炭デッサン	安藤	木炭デッサン	木炭紙・木炭
5	5月21日	火	佐藤	美術解剖学	安藤	人体ヌードクロッキー (男性)	B3クロッキー紙・コンテ
6	5月28日	火	佐藤	美術解剖学	安藤	人体ヌードクロッキー (女性)	B3クロッキー紙・コンテ
7	6月4日	火	安藤	人体ヌードデッサン (男性立像)	安藤	人体ヌードデッサン (男性立像)	木炭紙・木炭or 木炭紙大画用紙・鉛筆
8	6月11日	火	安藤	人体ヌードデッサン (女性坐像)	安藤	人体ヌードデッサン (女性坐像)	木炭紙・木炭or 木炭紙大画用紙・鉛筆
9	6月18日	火	工藤	人体着衣デッサン (女性坐像)	工藤	人体着衣デッサン (女性坐像)	木炭紙・木炭or 木炭紙大画用紙・鉛筆
10	6月25日	火	工藤	水彩画	工藤	水彩画	B3画用紙・パネル・水彩
11	7月2日	火	工藤	基礎油画	工藤	基礎油画	F10キャンバス・油彩
12	7月9日	火	工藤	基礎油画	工藤	基礎油画	F10キャンバス・油彩

学習目標

観察力では単に描写力を鍛えるだけでなく、描くことを通して物事を深く見つめることのできる力を養うことを目標にする。
それはプロの作家として必要かつ重要なことであり、じっくりと物と対話しながら描くことの面白さと大切さを学ぶ。

予習・準備物

注意事項

評価方法

制作態度、提出課題による採点

1年ファインアート科

企画力

担当教員 松蔭浩之

受講アトリエ [601]

2024/04/12(金)-2024/5/31(金)

13:30-16:30

授業内容

企画やアイデアを求められる場面が現代社会では非常に多くなってきました。「企画力」ではアイデアの出し方、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、実現力などクリエイティブの現場で必要となるスキルを課題制作を通して養います。そして社会との繋がりを意識してもらいます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月12日	金		日本美術史A/Mac講座A	○	オリエンテーション / 自己紹介	
2	4月19日	金		日本美術史A/Mac講座A	○	制作-1「なにを見つけ、どう撮るか」	
3	4月26日	金		日本美術史A/Mac講座A	○	制作-3「組み写真を企てる」	
4	5月10日	金		日本美術史A/Mac講座A	○	制作-4「写真を読む」	
5	5月17日	金		日本美術史A/Mac講座A	○	制作-5「ないものは写らないのか」	
6	5月24日	金		日本美術史A/Mac講座A	○	制作-6「コラボレーションによる撮影」	
7	5月31日	金		日本美術史A/Mac講座A	○	「大きな写真」/講評	

学習目標

基礎課程として1年次に、表現の根本になる5つのエレメントに分けて指導を行う。5つのエレメントとは「技法力」「観察力」「構成力」「企画力」「表現力」を指す。将来どんな活動をする上でも基本的な「体」ができていないと多様なものは生まれてこない。1年次前期で基礎力をしっかり身に付けることで、クリエイティブの入り口に立つことができ、2年、3年の授業も「なぜこれをやるのか」を理解できるようになる。その一番大事な部分を取り組む授業が「5つの力」である。上手に描けていながら、自分の描写力に自信のない人。そういった人がこの5つの力を通過する事によって苦手意識を克服し、次世代のプロを育成する足がかりとする。もの作りの構造を理解し、時代に対応できる力をつけることを、「写真を撮る/制作する」ことによって身につける

予習・準備物

生活スタイルが大きく変わった昨今、自分の中で感じたこと、気づいたこと、社会の変化や未来、この課題制作の中で必要になることです。自分の中で整理しておいてください。

注意事項

クリエイティブな現場と同じようにグループで課題制作を進めます。欠席、遅刻をしないよう注意してください。

評価方法

課題提出による採点

社会とクリエイター

担当教員 田中北斗

受講アトリエ [602]

2024/04/12(金)-2024/07/12(金)

11:00-12:30

授業内容

毎回、講義を中心にプロのクリエイターに必要な知識や考え方を養います。授業時間内の後半では、様々なテーマに合わせ、各自の意見やアイデアを文章やラフスケッチなどの提出。発表など行う場合もあります。ゲストを招いたトークセッションでは、プロのクリエイターになるためのプロセスなどを伺います。質問コーナーも予定。

授業スケジュール/計画

			指導		AM	指導	PM	備考
1	4月12日	金	○	色彩論	オリエンテーション 及び 講義			
2	4月19日	金	○	色彩論	講義			
3	4月26日	金	○	色彩論	●クリエイタートーク vol.1			ゲストを招いたトーク
4	5月10日	金	○	色彩論	講義			
5	5月17日	金	○	色彩論	講義			
6	5月24日	金	○	色彩論	●クリエイタートーク vol.2			ゲストを招いたトーク
7	5月31日	金	○	色彩論	講義			
8	6月7日	金	○	色彩論	講義			
9	6月14日	金	○	色彩論	●クリエイタートーク vol.3			ゲストを招いたトーク
10	6月21日	金	○	色彩論	講義			
11	6月28日	金	○	色彩論	講義			
12	7月5日	金	○	色彩論	●クリエイタートーク vol.4			ゲストを招いたトーク
13	7月12日	金	○	色彩論	講義			

学習目標

クリエイターになるための考え方（アイデアや企画）や社会との関わり方、クリエイターの職業や活動スタイルなど、講義やゲストを招いたトークセッションを通して学びます。

予習・準備物

筆記用具：授業の後半に、質問やアイデアなどを「文章・ラフスケッチ」などの形で提出していただくことがあります。

注意事項

評価方法

出席状況をベースに、授業態度 及び 提出物状況による採点

1年ビジュアルデザイン科

構成力

担当教員 田中北斗

受講アトリエ [602]

2024/04/11(木)-2024/7/11(木)

13:30-16:30

授業内容

構成力は「デザイン制作」の基礎となる「構図」「レイアウト」など「組み立てる力」をつける授業です。

同時に「分析や考察」といった作業も行い、どのような構図やレイアウトがベストなのか、制作を通して身につけていきます。一連の制作を体験しながら、自分自身の作品を客観的に評価し学んでいきます。

第1課題「分解と再構成、トリミング」 第2課題「コラージュ」 第3課題「フライヤー分析と再構成」

授業スケジュール/計画

			指導	AM		指導	PM	備考
1	4月11日	木		英語	英語	○	オリエンテーション & 第1課題	講義、課題説明など
2	4月18日	木		英語	英語	○	第1課題 制作 (分解と再構成)	
3	4月25日	木		英語	英語	○	第1課題 制作 (トリミング)	
4	5月9日	木		英語	英語	○	第1課題 講評	作品講評
5	5月16日	木		英語	英語	○	第2課題 (コラージュ) 説明 & 実習	各自コラージュ素材を持参
6	5月23日	木		英語	英語	○	第2課題 制作	
7	5月30日	木		英語	英語	○	第2課題 制作	
8	6月6日	木		英語	英語	○	第2課題 講評	作品講評
9	6月13日	木		英語	英語	○	第3課題 (フライヤー) / 分解・分析	各自フライヤーを持参
10	6月20日	木		英語	英語	○	第3課題 制作 (アイデアスケッチ)	
11	6月27日	木		英語	英語	○	第3課題 制作 (構築・表現)	
12	7月4日	木		英語	英語	○	第3課題 制作 (検証・評価)	
13	7月11日	木		英語	英語	○	第3課題 講評	作品講評

学習目標

基礎力をしっかり身に付けることで、2年、3年の専門課程ができるようになります。「構成力」は、表現においてのカタチの形成・構図・レイアウトなどに関わる重要な基礎の力です。デザインの基礎的な事や考え方を学ぶことを目標とします。

予習・準備物

普段で使用している使いやすい画材があれば持参してください。 その他、随時学校側で用意します。

注意事項

- 制作本来の目的を意識し、事前の準備をしっかり行いましょう。
- 遅刻・欠席が無いように注意しましょう。
- 提出物の期限を守りましょう。
- アトリエはキレイに使いましょう。
- 授業・課題制作を楽しみましょう。

評価方法

制作態度・積極性60% (課題作品の完成度はもちろん、演習を期限内に提出することを最低基準とします) 課題作品40%

技法力

担当教員 鈴木吐志哉

受講アトリエ [601、602、他]

2024/4/10(水)-2024/7/10(水)

11:00 - 16:30

授業内容

技法力は様々な版画の技法から生まれる表現を体験しながら探る授業です。まずフロッタージュから始まりモノタイプやシルクスクリーンなど、直接描くことでは得られない間接表現の魅力を学びます。さらに本校収蔵の葛飾北斎「神奈川冲浪裏」復刻版の版木をキーワードにして自由な表現による木版画、コラージュへと展開させてゆきます。

授業スケジュール/計画

			AM 1限	指導	AM 2限	PM 3限	PM 4限	備考
1	4月10日	水	文章技法論	○	版画のいろいろ～フロッタージュについて	フロッタージュ制作		
2	4月17日	水	文章技法論	○	モノタイプ（トランスファー技法）について	モノタイプ（トランスファー技法）制作		
3	4月24日	水	文章技法論	○	モノタイプ（カラー）について～制作	モノタイプ（カラー）制作		
4	5月8日	水	文章技法論	○	シルクスクリーンについて～原稿制作	シルクスクリーン原稿制作		
5	5月15日	水	文章技法論	○	シルクスクリーン制作（刷り）	シルクスクリーン制作（刷り）		
6	5月22日	水	文章技法論	○	モノタイプ（スクラッチ技法）について	モノタイプ（スクラッチ技法）制作		
7	5月29日	水	文章技法論	○	シリコンリトグラフについて～制作	シリコンリトグラフ制作（描画）		
8	6月5日	水	文章技法論	○	シリコンリトグラフ制作（刷り）	シリコンリトグラフ制作（刷り）		
9	6月12日	水	文章技法論	○	木版画 （正方形の版木を使って） （北斎版木摺り体験）	木版画 （正方形の版木を使って） （北斎版木摺り体験）		
10	6月19日	水	文章技法論	○	木版画 （正方形の版木を使って） （北斎版木摺り体験）	木版画 （正方形の版木を使って） （北斎版木摺り体験）		
11	6月26日	水	文章技法論	○	木版画 （正方形の版木を使って） （北斎版木摺り体験）	木版画 （正方形の版木を使って） （北斎版木摺り体験）		
12	7月3日	水	文章技法論	○	木版画 （正方形の版木を使って） （コラージュ） （北斎版木摺り体験）	木版画 （正方形の版木を使って） （コラージュ） （北斎版木摺り体験）	（学生準備物） ハサミ カッター	
13	7月10日	水	文章技法論	○	講習会	講習会		

学習目標

この授業では様々な版画の技法を体験します。版画で遊びながら「技法の力」を実感し、自分のイメージを展開、成長させることをこの授業の最大目的とします。

そして版画というフィルターを通すことで、自分の作品の別の顔に出会うことを目標とします。

予習・準備物

●鉛筆、ノート等の筆記用具 ●エプロン等の汚れても大丈夫な服装

注意事項

7月10日に講習会を行います。制作した自分の作品を支給したデザインケースできちんと管理しておいてください。

評価方法

授業での積極性50% 提出課題50%

評価方法

提出課題の評価による平常点で行う。

1年ファインアート科

MAC講座A

担当教員 濱迫 萌

受講アトリエ [401]

2024/04/12(金)-2024/09/27(金)

11:00-12:30

授業内容

前期では基礎的なPCの使い方、IllustratorおよびPhotoshopの基礎的知識、技術を身につけるための授業を行います。

授業スケジュール/計画

				AM	指導	PM	備考
1	4月12日	金	○		オリエンテーション		企画力
2	4月19日	金	○		データ作成の基礎		企画力
3	4月26日	金	○		Illustrator基礎		企画力
4	5月10日	金	○		Illustrator基礎		企画力
5	5月17日	金	○		Illustrator基礎		企画力
6	5月24日	金	○		Illustrator基礎		企画力
7	5月31日	金	○		名刺制作		企画力
8	6月7日	金	○		名刺制作		企画力
9	6月14日	金	○		名刺制作		企画力
10	6月21日	金	○		名刺制作(提出)		企画力 データ・出力どちらも提出
11	6月28日	金	○		お散歩ビンゴ		企画力 グループワーク (写真素材集め)
12	7月5日	金	○		お散歩ビンゴ		企画力
13	7月12日	金	○		お散歩ビンゴ		企画力
14	9月20日	金	○		Photoshop基礎		企画力
15	9月27日	金	○		Photoshop基礎		企画力

学習目標

まずはPCに慣れ、何が出来るのかを知ることからはじめます。

印刷物(紙媒体)をベースとした各メディアのデータ作成に必要な基礎知識やスキルなどを身につけることを目指します。

予習・準備物

筆記用具・USB

注意事項

授業スケジュールは、進み具合により前後します。

評価方法

授業態度および提出課題による採点。

日本画

担当教員 小林大悟

受講アトリエ [601]

2024/04/13(土)-2024/7/13(土)

9:20-12:30

授業内容

触れる機会の少ない「日本画」材料の基礎を学んでいきます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月13日	土	○	オリエンテーション		自由研究	
2	4月20日	土	○	墨を研究しよう		自由研究	
3	5月11日	土	○	鳥獣戯画で遊ぼう		自由研究	
4	5月18日	土	○	美術館見学		自由研究	課外授業
5	5月25日	土	○	日本画体験		自由研究	
6	6月1日	土	○	日本画制作		自由研究	
7	6月8日	土		自由研究	○	日本画制作	
8	6月15日	土	○	日本画制作		自由研究	
9	6月22日	土	○	講評/鑑賞会		自由研究	
10	6月29日	土		自由研究	○	銀箔実験	
11	7月6日	土	○	グッズ制作		自由研究	
12	7月13日	土	○	グッズ制作/鑑賞会		自由研究	

学習目標

敷居が高い日本画の画材へのハードルを下げながら、画材の体験と制作を行います。

親しみやすいテーマを取り入れる事で楽しみながら画材に触れ、日本画への興味と今後の制作への応用に繋がる事を目指します。

予習・準備物

筆記用具、汚れても良い服装

注意事項

対面授業は進行状況を鑑みて、内容の前後や多少の変更もあります。（オンライン授業日は原則変更しません）

評価方法

参加意欲と授業態度を重視します。

1年ビジュアルデザイン科

写真基礎演習

担当教員 藤本 陽

受講アトリエ [401]

2024/04/13(土)-2024/6/1(土)

*VD科は受講数によりAグループとBグループに分けて授業を行います。

9:20-10:50/11:00-12:30

授業内容

写真撮影を試みる。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月13日	土	○	授業説明と課題について			
2	4月20日	土	○	撮影(街歩き)とデータ保存			
3	5月11日	土	○	画像編集とLrcの説明			
4	5月18日	土	○	撮影(明日館か目白庭園)とデータ保存			
5	5月25日	土	○	画像編集とプリント			
6	6月1日	土	○	発表会			

学習目標

なるべく沢山の写真からより良い写真を選ぶことを覚える。

予習・準備物

パソコンへのデータ移動用のUSBメモリー・カメラとして機能する物(スマートフォンや一眼レフなど)
カメラを持っている学生は自分のものを使用しても大丈夫です。

注意事項

適切な言動を求めます。理由が不適切な遅刻や怠惰など、また他人に対する不適切や不愉快な言動などがあれば評価をいたしません。

評価方法

参加意欲・授業態度(50%)と制作物(50%)

1年ビジュアルデザイン科

MAC講座A

担当教員 高林直俊

受講アトリエ [401]

2024/04/15(月)-2024/09/30(月)

*VD科は受講数によりAグループとBグループに分けて授業を行います。

9:20-10:50/11:00-12:30

授業内容

Mac講座A(前期)では、Macの基本的な操作方法とIllustrator & Photoshopの基本操作・知識・制作技術を学んでいきます。この2つのアプリケーションは3年間の各講座、そしてデザイン業界では必要最低限のアプリケーションとなります。この2つが扱えない＝デザイン系会社への就職はほぼ不可能だと思しますので、まずは前期でしっかりと基礎を学びましょう。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月15日	月	○	オリエンテーション		表現力	自己紹介・一年間の流れ
2	4月22日	月	○	Macに触れてみよう		表現力	
約1ヶ月間 授業なし							
3	5月20日	月	○	Illustratorに触れてみよう		表現力	
4	5月27日	月	○	Photoshopに触れてみよう		表現力	
5	6月3日	月	○	Illustrator_基礎①		表現力	基礎操作、ツール、図形、イラスト 文字の扱い方、印刷知識など
6	6月10日	月	○	Illustrator_基礎②		表現力	
7	6月17日	月	○	Photoshop_基礎①		表現力	基礎操作、ツール、画像処理 コラージュ・合成
8	6月24日	月	○	Photoshop_基礎②		表現力	
9	7月1日	月	○	Illustrator_課題		表現力	
10	7月8日	月	○	Photoshop_課題		表現力	
夏休み							
11	9月2日	月	○	総合課題_出題		表現力	
12	9月9日	月	○	総合課題_提出		表現力	
約20日間 授業なし							
13	9月30日	月	○	課外授業予定		表現力	

学習目標

プロのイラストレーターやデザイナーなど、デザイン業界に携わる際に、印刷物（紙媒体）をベースとした各メディアのデータ作成に必要な基礎知識やスキルなどを身につけることを目指します。また自己アピールの際にポートフォリオ作成に必要な最低限の操作技術も身につけます。

予習・準備物

毎授業USBメモリは必須となります。筆記用具等

注意事項

月曜午前授業となりますので、出席率低下が懸念されます。この授業を蔑ろにしまうと全ての授業で困ってしまいますので、デザイナーやイラストレーターを目標にしている生徒さんは休まずに参加してください。全然厳しい授業ではありませんので。

評価方法

制作態度 80% 課題作品 20%

1年ビジュアルデザイン科

観察力

担当教員 関根秀星

受講アトリエ [602]

2024/04/16(火)-2024/7/9(火)

9:20-12:30/13:30-16:30

授業内容

デッサン・クロッキーの、基礎から応用。

課題毎にデモストや講評を行い、より深い理解へと繋げる。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月16日	火	○	オリエンテーション/グレースケール	○	静物デッサン基礎	B3画用紙・鉛筆
2	4月23日	火	○	静物デッサン基礎	○	静物デッサン基礎	B3画用紙・鉛筆
3	5月7日	火	○	静物デッサン基礎	○	静物デッサン基礎	B3画用紙・鉛筆
4	5月14日	火	○	人体デッサン・手	○	人体デッサン・手	B3画用紙・鉛筆
5	5月21日	火	○	想定デッサン	○	想定デッサン	B3画用紙・鉛筆
6	5月28日	火	○	静物デッサン応用	○	静物デッサン応用	B3画用紙・鉛筆
7	6月4日	火	○	静物デッサン応用	○	静物デッサン応用	B3画用紙・鉛筆
8	6月11日	火	○	人物クロッキー	○	人物クロッキー	木炭紙大クロッキー帳、画用紙等/鉛筆、木炭等
9	6月18日	火	○	人体デッサン・自画像	○	人体デッサン・自画像	B3画用紙・鉛筆
10	6月25日	火	○	人体デッサン・自画像	○	人体デッサン・自画像	B3画用紙・鉛筆
11	7月2日	火	○	静物デッサン応用	○	静物デッサン応用	B3画用紙・鉛筆
12	7月9日	火	○	静物デッサン応用	○	静物デッサン応用	B3画用紙・鉛筆

学習目標

イラストレーションやデザインや絵画や立体等々、クリエイターの表現方法は多岐にわたるが、全ての表現に共通する大前提の過程として、表現する対象を深く、多角的に理解する"インプット"の質が求められる。

デッサンやクロッキーを通して、モノの本質的、外見的な観察力を養い、表現者としての基礎体力をつける。

予習・準備物

・デッサン用具一式 ・これまでの課題制作物、自主制作作品 ・各課題において、各自準備物を別途指示

注意事項

評価方法

制作態度、提出課題による採点

1年ビジュアルデザイン科

映像ワークショップ

担当教員 三田村光土里

受講アトリエ [602]

2024/06/8(土)- 2024/07/13(土)

9:20-12:30

授業内容

フォト・ストーリーをつくろう

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	6月8日	土	○	オリエンテーション			
2	6月15日	土	○	制作			
3	6月22日	土	○	制作			
4	6月29日	土	○	制作			
5	7月6日	土	○	制作			
6	7月13日	土	○	講評			

学習目標

現代社会のクリエイティブ環境の中には、ますますアートの感性や発想を求められる機会が増えてきています。それらは目指す共通の理念がアートとデザイン共に人に「感動」を与える事を目標にしているからに他なりません。そういった時代の流れを受けて様々なアートの分野より活躍している講師からリアルタイムな現場の情報と方法論を学び、クリエイティブな発想の「入口」、「きっかけ」になる講座をめざします。

予習・準備物

授業内で指示。デジタルカメラ（スマホ搭載機能でも可）

注意事項

グループ学習なので、出席とメンバーとのコミュニケーションに心がける。

評価方法

提出物・授業態度で総合的に判断